三方五湖学習

里山里海湖ジュニアマスター

福井県里山里海湖研究所では、ふるさとの里山里海湖を理解し、豊かな環境保全につなげる活動として、地域の里山里海湖資源を活かした授業を行う「里の学校」を実施しました。

今年度は、若狭町立三方小学校において実施し、3月16日の卒業に、「里山里海湖ジュニアマスター」の認定証が交付されました。

＝今年度の里の学校の内容＝

・ゆりかご田における田植え、稲刈り
・梅もぎ、梅干し作り体験
・水月湖の年縞についての学習
・雲谷山登山と三方断層
・里山里海湖ジュニア検定
・里山里海湖ジュニアマスター認定証交付

年縞や梅 知識取得、

里山里海湖研 三方小児童に認定書

代表児童に認定証を手渡す小嶋明男校長＝若狭町三方小学校で（県里山里海湖研究所提供）

水月湖の湖底堆積物で、地質年代を特定する「世界のものさし」となった年縞や若狭町特産福井梅について理解を深めた「里山里海湖ジュニアマスター」認定証の交付式が十六日、若狭町三方の三方小学校であった。

認定された児童は六年生の二十一人。児童らは、県里山里海湖研究所の研究員らによる無農薬の米作りや福井梅の梅もぎ、梅干しづくり体験などの講座を十時間以上受講。同研究所が策定した里山や獣害についての知識を問う「ジュニアマスター検定」に挑戦し、全員が九問中八問以上を正解して合格した。

同小の体育館であった交付式では、小嶋明男校長が代表児童に認定証を手渡した。（角野峻也）

（日刊県民福井朝刊：平成27年3月17日（火））

自然再生関連会議等開催情報

◆三方五湖自然再生協議会全体会
　・平成27年1月21、22日…全国連絡会
　・平成27年3月1日…全体会会議
◆湖と田んぼのつながり再生部会
　・平成27年2月22日…研修会・部会会議
◆シジミのなぎさ部会
　・平成27年2月13日…部会会議
◆外来生物等対策部会
　・平成27年2月15日…部会会議

三方五湖のなかまたち

タモロコ（コイ科）

・体長6～10cm
・フナより細長く体側面に黒い線がある
・尾びれ根元に黒い点がある

＊三方五湖は、タモロコなどの日本固有種の魚類が多く生息していることなどが理由となり、ラムサール条約湿地に登録されました

三方五湖の自然とめぐみTOPIX

外来生物クリアファイル

三方五湖自然再生協議会・外来生物等対策部会では、三方五湖にもともと瀬生息する生きものを脅かす“外来生物”について説明するクリアファイルを作成しました。外来生物駆除活動などのイベントにおいて配布されています。

問合先

福井県安全環境部自然環境課
〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号
TEL 0776-20-0305
美浜町住民環境課
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市25-25
TEL 0770-32-6703
若狭町環境安全課
〔三方庁舎〕
〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地
TEL 0770-45-9126
若狭町歴史文化課縄文環境室
〔若狭三方縄文博物館内〕
〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1
TEL 0770-45-2270

このニュースレターは「平成26年度生物多様性保全推進交付金（環境省）」を使用しています。

三方五湖ニュースレター

No. 06
平成27年3月20日発行

シジミの生息調査

目次

三方五湖自然再生協議会
平成26年度第2回全体会開催 …… 1、2

三方五湖学習、自然再生関連会議等開催状況、
自然再生取組の現場から、三方五湖のなかまたち …… 3

三方五湖自然再生協議会 平成26年度 第2回 全体会開催

3月1日（日）に、三方五湖自然再生協議会の全体会（平成26年度第2回）が、若狭町中央公民館で開催され、関係者約80人が参加しました。

今回の全体会では、自然再生事業の進捗状況や成果、今後の課題にについて報告がありました。

各部会による報告と合わせて、来年度も部会間の連携を図りながら、自然再生事業を進めることを確認しました。

三方五湖自然再生協議会・全体会の様子

シジミのなぎさ部会

シジミの生息調査

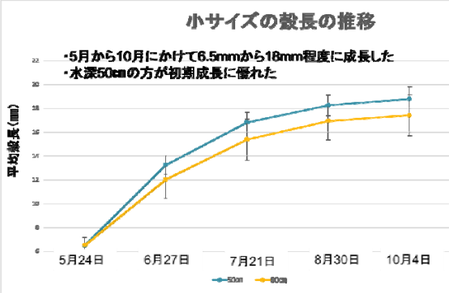
久々子湖では、久々子湖水明化委員会の呼びかけによるシジミの生息調査が、地元住民の皆さんにより実施されています。生息調査では、今年度のシジミの成長の様子、サイズごとの分布状況等が確認されました。

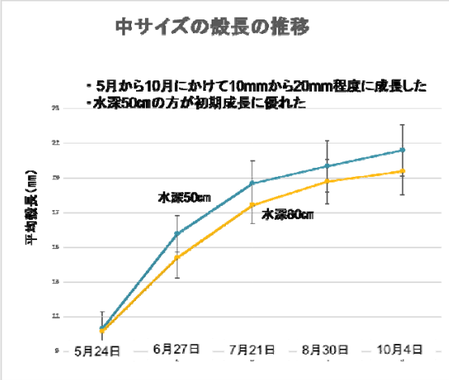
[シジミの生息調査]
・過去に放流した稚貝の生息状況（サイズ、密度等）の把握

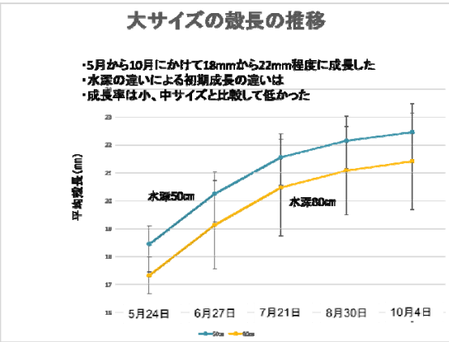
シジミの採集

サイズごとに並べられたシジミ

また、久々子湖でのシジミの生息環境等についての調査が、福井県立大学（青海副学長等）により進められています。今年度は、シジミのカゴ飼育によるシジミの成長速度調査などが実施されました。





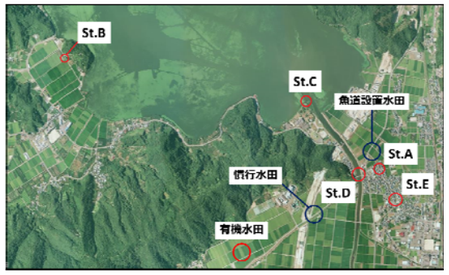


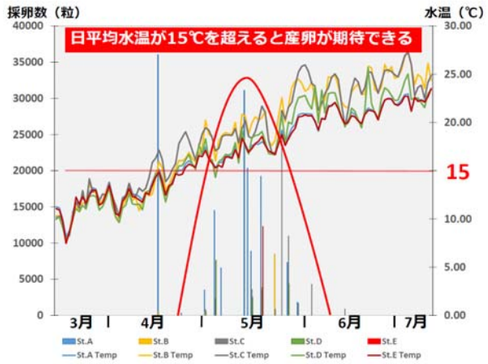
（資料：青海忠久（福井県立大学））

湖と田んぼのつながり再生部会

シュロ採卵調査

湖とたんぼのつながり再生部会では、福井県立大学（井下氏）により、フナ・コイの産卵と水温の関係についての調査等が実施されました。調査の結果、日平均水温が15℃を超えるとフナ・コイの採卵が期待されることがわかりました。





（資料：井下（福井県立大学））

環境にやさしい農法部会

濁水調査

環境にやさしい農法部会では、濁水防止対策のための調査として、濁水の透視度調査及び水質分析を福井県立大学（杉本助教）と協働で実施しました。

調査の結果、代掻き時に田んぼから流出する濁水には、高濃度の窒素などが含まれることが確認され、濁水の河川への流出を防止することは、河川・湖沼の生態系の健全性に繋がることなどが報告されました。

濁水の河川への流入の様子

外来生物等対策部会

外来生物の生息状況等調査

三方五湖と周辺里地では、漁業者や市民団体、研究者によって、外来生物の駆除活動が進められています。

また、三方湖では、2009年のブルーギル確認以降、爆発的な増加がみられていることから、福井県立大学（富永教授）により、ブルーギルの生態調査が進められています。

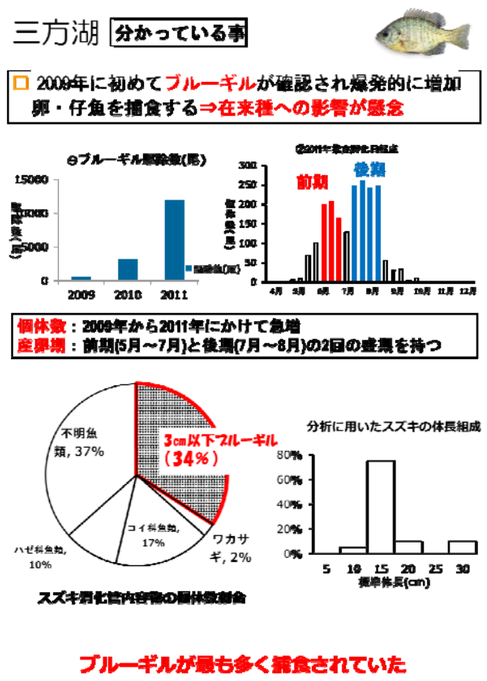
これまでの調査から、ブルーギルは、年に2回の産卵盛期（5～7月、7～8月）があることが確認されています。

外来生物の駆除状況

三方湖周辺およびかや田

捕獲団体 ＼ 対象種	オオクチバス	ブルーギル	ウシガエル 成体	ウシガエル 幼体	ミシシッピアカミミガメ	アメリカザリガニ	合計
鳥浜漁業協同組合	5	4,316	-	-	-	-	4,321
バスプロジェクト推進協議会	-	-	39	0	2	-	41
福井県立大学	15	679	8	986	19	2	1,709
里山里湖研究所	2	6	119	475	30	-	632
海浜自然センター	3	2	3	1	9	-	18
内水面総合センター	2	324	-	-	-	-	326
小　計	27	5,327	169	1,462	60	2	7,047
合　計	27	5,327		1,631	60	2	7,047
割　合	0.4	75.6		23.1	0.9	0.0	100

（資料：外来生物等対策部会）



（資料：富永修（福井県立大学））